

なののはな だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **93**

October 2018



佐倉ホワイエ 育成活動 「秋の生け花」

INDEX

1
2

トレンドTOPIX 潮流
（ニュースウォッチ）

介護保険部会 介護予防と
フレイル対策 一体的実施へ

フォーカス「老健ちば」

「事務長会」報告

平成30年度
第1回支援相談員部会

3
4

平成30年度
介護報酬改定についてのアンケート

5
6

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

夏の定番行事

く流しそうめん

介護老人保健施設 おゆみの リハビリテーション科 藤田 達也



7

〈なののはなスマイル〉施設の笑顔紹介

●はつらつリハビリセンター

●シルバークア常盤平

〈老健ちばカレンダー〉

〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

平成30年10月15日 発行

●発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

トレンドTOPIX 潮流

ちょうりゅう

**2040年までに健康寿命を3年以上
延伸させ、平均寿命との差を縮める目標を
掲げており、その手段の一つとして、
介護予防とフレイル対策や
生活習慣病対策などの保健事業を
一体的に実施していきたい考え。**

ニ
ュ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

介護保険部会 介護予防と フレイル対策 一体的実施へ

有識者会議設置を了承

厚生労働省は7月26日、社会保障審議会介護保険部会（部会長＝遠藤久夫・国立社会保障・人口問題研究所長）を開き、保健事業と介護予防を一体的に実施するための有識者会議の設置を提案し、了承された。近く初会合が行われ、年内にも具体策がとりまとめられる。

同省では、2040年までに健康寿命を3年以上延伸させ、平均寿命との差を縮める目標を掲げており、その手段の一つとして、介護予防とフレイル対策や生活習慣病対策などの保健事業を一体的に実施していきたい考え。

ただ、現行ではフレイル対策や生活習慣病対策は医療保険、介護予防は介護保険と、制度や実施主体がバラバラなため、一体的で効果的な取り組みが実施されにくいといった課題がある。

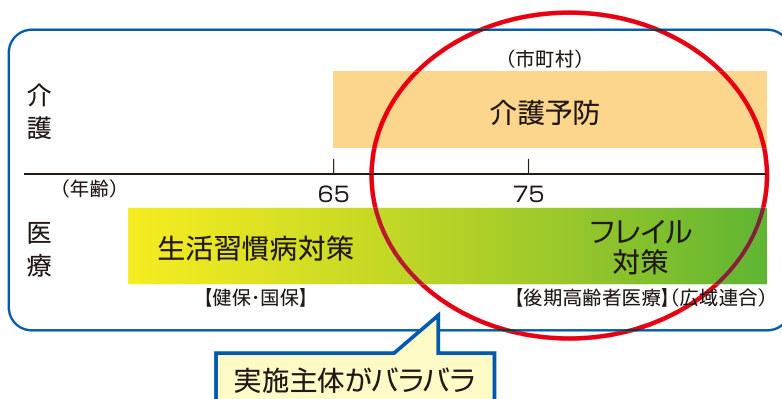
また、介護予防事業での通いの場

についても、設置箇所数は全国で7万6,492カ所あるものの、高齢者の参加率については4.2%と低いのが現状だ。このため、介護予防事業の通いの場を活かして、フレイル対策や生活習慣病対策を一体的に実施できる枠組みを検討する。具体的なイメージとしては、介護予防の通いの場に保健師などの医療職が訪れ、フレイルチェックや保健指導が行えるようにしていく考え。

有識者会では、介護予防と保健事業の一体的な実施に関して、実施内容（効果的な支援のあり方）や実施主体（市町村と広域連合、保険者間の役割分担）、事業スキーム（財源、計画）などを検討する。

メンバーは遠藤久夫氏や飯島勝矢氏（東京大学高齢社会総合研究機構教授）ら学識経験者のほか、保険者の代表や日本医師会、日本看護協会などの職能団体代表によって構成される。

年内を目途に制度的・実務的な論



点を整理し、社会保障審議会の介護保険部会、医療保険部会の両部会に報告される。

- ◆生活習慣病対策・フレイル対策(医療保険)と介護予防(介護保険)が別々に展開。
- ◆医療保険の保健事業は、75歳を境に、保険者・事業内容が異なる。

フォーカス 老健 ちば

「事務長会」報告

平成30年8月31日(金)、ホテルポートプラザちばにて、46施設47名の参加のもと「平成30年度事務長会」が開催されました。

今回は、社会保険労務士法人ハーマニー東京オフィス所長で特定社会保険労務士の山崎裕樹氏をお招きし、「働き方改革で求められる介護施設の実務対応」についてご講義いただきました。

働き方改革と労働時間管理として、労働時間の上限規制・適正な労働時間管理の方法・長時間労働と健康障害リスク・割増賃金の支払いを回避

事務長研修会



する検討事項・労務管理に関するト
ラブル等

多様な働き方のポイント整理と導入事例として、短時間正社員導入事例・夜勤専従・在宅勤務(テレワーク)等

働き方改革実現に向けた実務対応のポイント(残業削減策等)として、同一労働同一賃金・パワハラ対策、メンタルヘルス対策・職場改善と社員定着支援策(助成金案内)等

以上の内容で、具体的にお話ししていただき、とても参考になりました。

最後のまとめとして、まずやるべきことは、①働き方関連法案の趣旨と流れを押さえる。②現行の労務管理体制のチェックと取り組みの優先順位を確認する。③自社にあった具体的な改善策を検討し着手する。という3点で、働き方改革は経営上の最優先課題で進めるものであるとお話しされました。

講義のあと、地域別グループ討議が行われ、今年度の介護報酬改定後の状況や、人材確保に関して等、他施設事務長と有意義な情報交換ができました。



平成30年度 第1回支援相談員部会

平成30年7月12日(木)
ポートプラザちば

「相談員としての在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価への取り組み」

講師 医療法人社団 愛友会
介護老人保健施設ハートケア流山
支援相談室 課長 初鹿博子氏

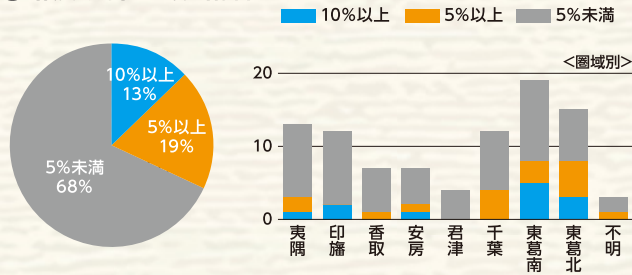
今年度の改正で老健の役割を明確にしていかなければいけない算定基準になって来ていると感じ研修企画を考えました。「在宅復帰・在宅療養支援に対する評価への支援相談員の取り組み」をテーマとして、超強化型を維持されている医療法人 愛友会 ハートケア流山で支援相談課長をされている初鹿博子氏に施設でのお取り組みについてご講義いただきました。

支援相談員は老健の窓口である老健の機能についての説明、利用者様の気持ちを大事に、共感し一緒に考えていく姿勢を伝えていく事が大事。又、施設内で在宅復帰施設となるために各部署での目標設定を行い、毎日の朝礼を行い数字で解りやすく伝えベッドコントロールは可視化で共有するなどしてスタッフ全員が意識して取り組まれている等、これから算定評価をアップしていく上での取り組みに大変、参考になるお話でした。

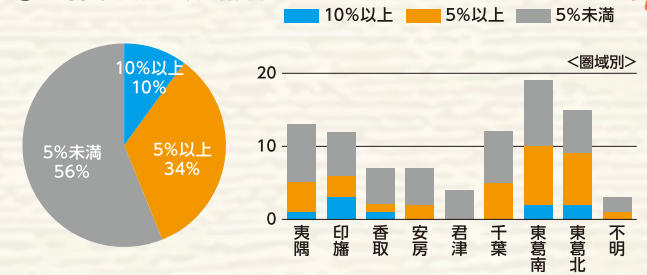
平成30年度部会長

三須 邦子 サンシルバー市川

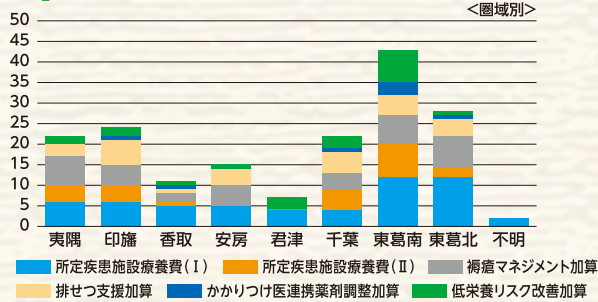
⑨ 喀痰吸引の実施割合



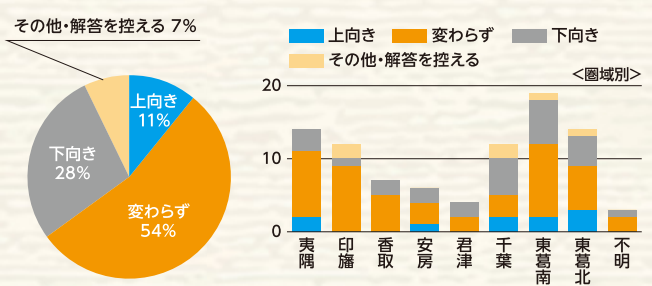
⑩ 経管栄養の実施割合



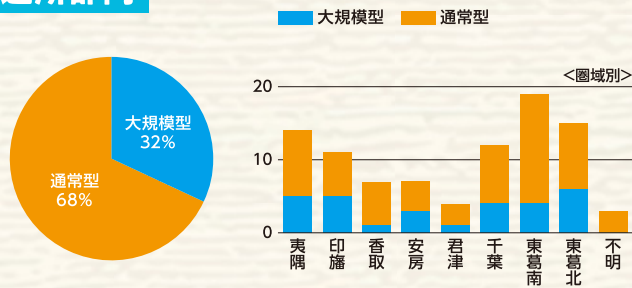
【問3】新規加算の取得状況



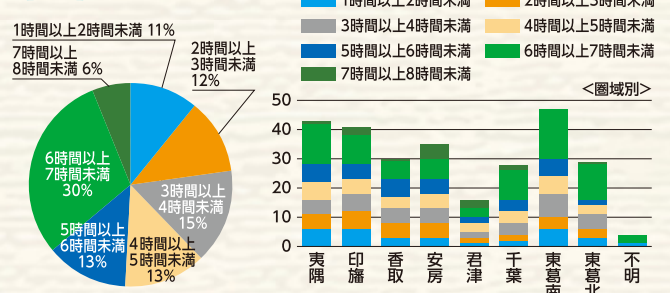
【問4】入所部門における報酬改定後の経営状況



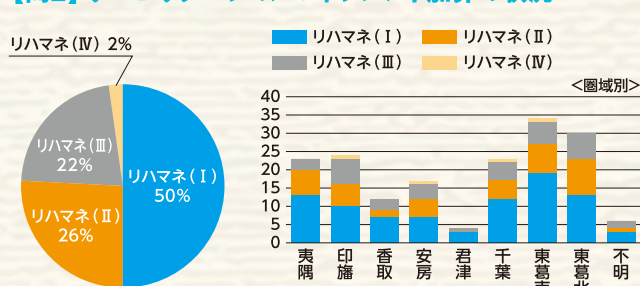
通所部門



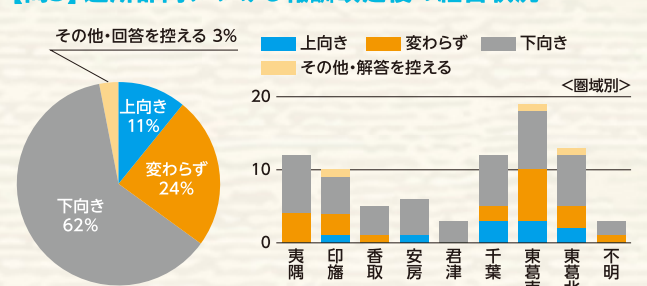
【問1】対応時間



【問2】リハビリテーションマネジメント加算の状況



【問3】通所部門における報酬改定後の経営状況



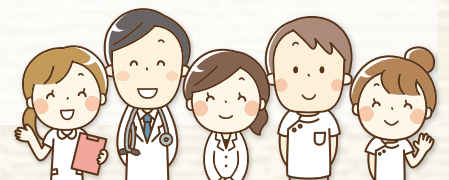
介護報酬に関して意見や課題(※同類の回答については集約させて頂きました)

独立型

- 30年改訂まではDC6～8時間が大半の事業所で実施されていた。しかし老健DCの長時間レスパイト的な処遇は完全否定される形となった。
- 地域的なこともあり、長期入所希望者が多いので大変困っています。
- 改正の度に複雑になっている。ご家族も困惑している。
- 在宅復帰を推進することによりどうか「基本型」を維持しているが、入所稼働率が大きく下がり、結果的には大幅な収入減になっている。
- 人材不足が何より課題となっております。
- 今後より一層、介護報酬改定(加算)を厳しくDS、DCの明確化は避けるべき、結果を出せるところには現状より高い加算を与えるべき。

併設型

- 人員不足の為受け入れを制限せざるを得ない状況です。
- 家族が自宅介護を望まない方が多い。
- 通所の延べ人数が増えているのに収入が下がっているので経営がかなり圧迫されている。



今後、どのような対策を講じる必要があるのか、現在自施設における水準はどの辺りかが分かる題材になると思われますので、参考にして頂けたら幸いです。アンケートのご協力に感謝致します。

平成30年度

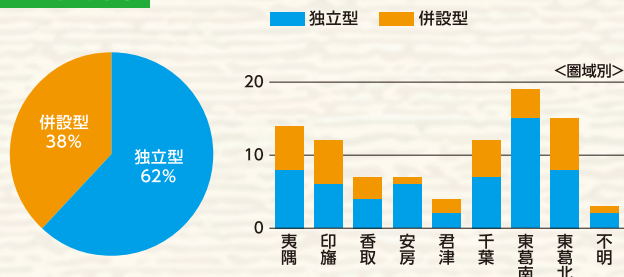
介護報酬改定についてのアンケート

平成12年から介護保険制度が始まり、平成30年度は介護・医療の同時改定となりました。今回の改定率は+0.54%となりました。こうした状況を千葉県老健施設ではどう捉えているのか、各自施設がどの水準なのかを見定める資料として、今もっとも注目の高い内容をお聞きして下記にまとめました。

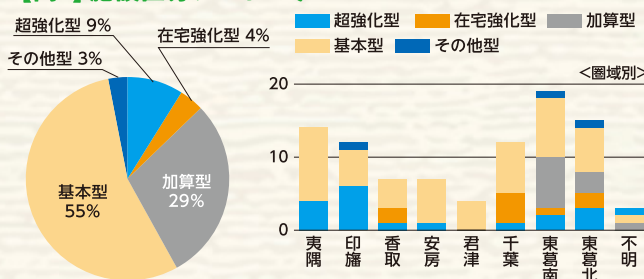


アンケート結果回収施設／138施設中93施設

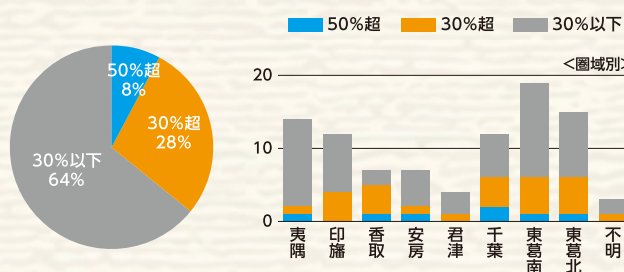
入所部門



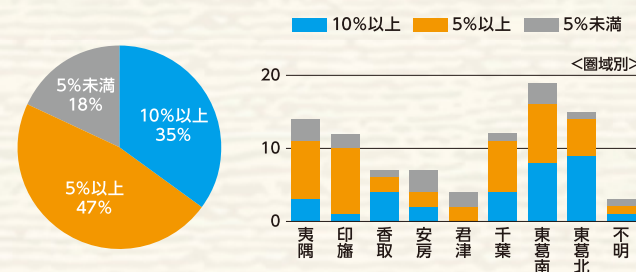
【問1】施設区分はどれですか



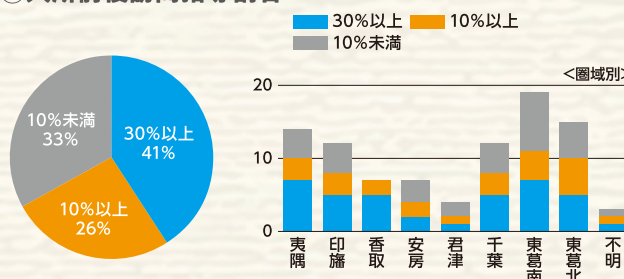
【問2】各指標の値はどれですか ①在宅復帰率



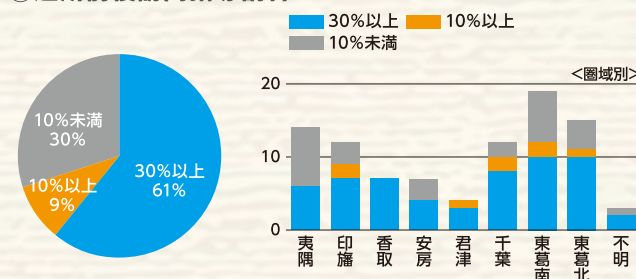
②ベット回転率



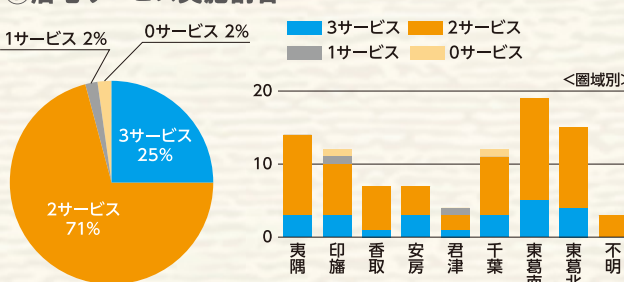
③入所前後訪問指導割合



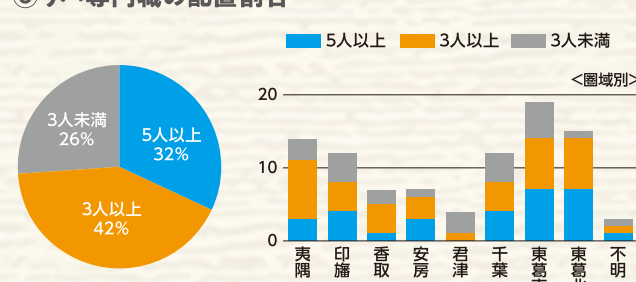
④退所前後訪問指導割合



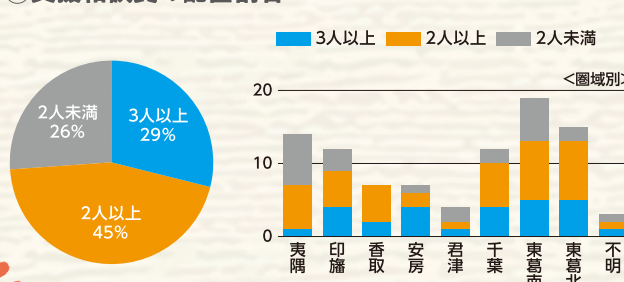
⑤居宅サービス実施割合



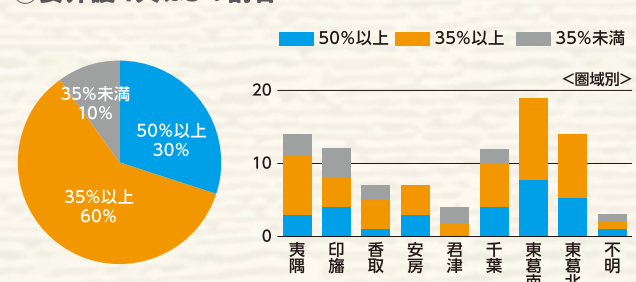
⑥リハ専門職の配置割合



⑦支援相談員の配置割合



⑧要介護4又は5の割合



研修会報告

老人保健施設におけるリハビリ研修会報告

平成30年9月11日(火) ホテルポルトプラザにて、39施設48名参加のもとリハビリ研修会が開催されました。リハビリ職だけでなく介護職も多く参加がありました。講師には日本シーティング・コンサルタント協会から阿部高家(あべたかや)氏と森田智之(もりたともゆき)氏の両名をお迎えし、午前2時間・午後3時間の実習を織り交ぜた講義をしていただきました。



前半は『座る』と題して①シーティングを行うことの効果②不良座位姿勢の種類、影響③良い座りについて④車椅子を選ぶポイント⑤座面の圧⑥座位能力の評価⑦身体寸法の測定などについて講義と、実際に車椅子を使い10グループに分かれて実習を行いました。さらにシーティングを行う事によりADLが改善した事例の紹介があり、前半の講義のまとめとなるような話がされました。

昼食休憩を挟んだ後半は『明日から活きる!シーティングの基礎的な知識』と題して、実習中心に講義がされました。①車椅子寸法の計測②身体寸法の計測③車椅子と身体の適合の3つの課題について講義・実習・解説という流れで分かりやすく説明がされました。

前半後半ともに実習中心だったので、介護職もシーティングについて理解が深めやす



かったように思います。分かりやすい講義をしてくださった講師のお二人と最新の車椅子をご用意してくださった株式会社フロンティアの皆様ありがとうございました。

参加者の感想



介護老人保健施設
しらゆり
作業療法士
東田 善裕

先日リハビリ研修会に参加させていただき、大変勉強になる講義を聞いたり、実技をさせていただきました。

今回講師を務めてくださった松本先生、阿部先生からは『姿勢』の大切さや奥深さについて教えていただき、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。

座るという動作は私達のような健常者からしてみたら出来て当たり前の動作でした。しかし高齢者や障害者の方々からしてみたらそのような当たり前の事でさえ一苦勞で困難な動作である事を改めて考えるようになりました。

また実技では自分で車椅子に座って体験することで、教わった知識をより深く理解する事が出来ました。これからは各部署とより細やかな情報交換や連携を図り、利用者様にはより快適に過ごして貰える様に頑張っていきたいと思

います。また機会があれば研修会に参加させていただきますと思っています。

マルククリーンピュアで冬のウイルス&細菌対策!

第三世代 次亜塩素酸ナトリウム単一製剤

インフル
エンザ

ノロ
ウイルス

肺炎球菌
大腸菌

医療現場のための除菌・消臭剤
空間噴霧で浮遊ウイルスを除去!
肌に触れてもOK!からだに優しい

無料お試し
キャンペーン中!



専用噴霧器



マルククリーンピュア
50ppm5L

約1ヶ月、
じっくり
お試し頂け
ます♪

空間除菌 はじめませんか?

空間噴霧による浮遊ウイルス不活化データ

一般社団法人 予防環境協会



デイルームや談話室など
人が集まる場所の空間
除菌におすすめ!



岩淵薬品株式会社

船橋市本中山4-14-1 (平日8:30~17:30)

お気軽にお問合せください! 047-374-3009

夏の定番行事

流しそうめん



介護老人保健施設 おゆみの リハビリテーション科 藤田 達也

私は、夏になるとやりたい事がたくさんありまして、海水浴・花火・B・B・Qなどなど。その中の一つとして、流しそうめんがやりたくなるんです。でもテーブルの上で出来るような、流れるプールみたいなやつじゃないです。しっかりと筒を使って上から水を流してやる本格的なやつ。そんな事を思っている私に、流しそうめんを紹介して下さいます。

(笑) (準備や運営は私ではなく、うちのリハスタッフが中心に行ってくれています。)

当施設の流しそうめんは、利用者様がめんを茹でたり、具材を切ったりするところから始まります。利用者様の中には「もう全然料理なんてしてないから、できないわよ。」とか「手が痛いやいですが、いざ料理が始まるとそこは大先輩方。いつもリハビリで見せる姿からは想像できない

ぐらい、いきいきと流しそうめんの準備を行っています。中には、うちのスタッフに指示をする利用者様もちらほら…(笑)

流しそうめんの準備ができたらいよいよスタート。流すものは、そうめんだけでなく、ミニトマトやきゅうり、みかんなども流しました。昼食後だったにもかかわらず、流しそうめんの雰囲気、利用者様の箸がすすむすむ。中には、日頃あまりご飯を召し上がらない利用者様も、手が伸び、口へ運び「美味しいね」と笑顔でおっしゃっていました。私は、この瞬間がとても好きで、こんな笑顔が見れるなら、また来年もやろうと思いました。

うと思いました。

行事やレクリエーションを通して、利用者様を笑顔にする取り組みを今後も続けていきたいと思っています。さて、今度は何をしようかな？



Information

新人スタッフの紹介



つくも苑 介護主任
鈴木 智彦

この度、広報委員を担当させていただきます。くことになりました鈴木と申します。茂原市にある介護老人保健施設「つくも苑」で介護主任として勤務しております。

介護の仕事に携わり二十年、福祉用具や排せつ用品等の改善が図られ、少しずつ高齢者を支える社会環境は良い方向に変化してきました。これからの少子超高齢社会に向けては、少ない人口で高齢者を支えるために個々の知識や技術の向上が課題だと考えています。

この広報活動に参加させていただき、介護を取り巻く情報の提供と普及を目標として、皆さんと共に学べる活動をしたいと考えています。今後とも宜しくお願い申し上げます。

フォトコンテストのお知らせ

今年も12月14日(金)に「平成30年度 研究事例発表大会」が行われます。つきましては前回に続きフォトコンテストも開催いたします。

テーマは「笑顔」です。見事、フォトコンテストの大賞に選ばれた写真は1年間当協会のホームページの表紙として掲載させていただきます。入所者や職員等の素敵な写真をお待ちいたします。



福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL.048-257-2948

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも
インジニアス株式会社
〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

なのはな スマイル

明るく!

元気!

施設の笑顔をご紹介します!



■ はつらつリハビリセンター

当施設は千葉市若葉区と八街市の境に位置し、落花生畑に囲まれたのどかな環境にあります。

昨年、創立20周年を迎えました。これを機に初心に返り、モットーを「心のこもった挨拶 日本一を目指す!」としました。これからも職員一丸となり、利用者様のニーズに寄り添うサポートを行ってまいります。

住 所: 千葉市若葉区小間子町3-132
電 話: 043-239-8282
開設日: 平成9年11月17日
入 所: 80名
通 所: 20名

利用者様のお役に立てるこの仕事が大好きです。お一人お一人との会話に毎日、励まされています。

左の写真は20周年の記念写真と納涼祭時の「ナイヤガラ富士(高さ8m)」です。

●はつらつリハビリセンター
左: 谷口介護
右: 吉田介護



■ シルバーケア常盤平

社会医療法人社団木下会の介護老人保健施設として平成24年6月に開設、今年で7年目を迎えます。

「自分の家族を預けたいと思える施設にしよう」を合言葉に、地域の皆さんに愛される施設を目指して日々頑張っております。

住 所: 松戸市五香西5-28
電 話: 047-386-4551
開設日: 平成24年6月
入 所: 100名
通 所: 24名

笑顔いっぱい、元気いっぱいを心掛け、ご利用者様の「居場所」が作れるようスタッフ一同頑張っています。

●シルバーケア常盤平
介護福祉士
布施孝樹(デイケア責任者)



老健ちばカレンダー

11月

- 15日(木) ●施設ケアマネジャー研修会
＜ホテルポートプラザちば＞
- 19日(月) ●高齢者の栄養と食事研修会
＜ホテルポートプラザちば＞

12月

- 認知症研修会
＜日時場所未定＞
- 14日(金) ●研究事例発表大会
＜千葉市文化センター＞

1月

- 管理者研修会
＜日時場所未定＞
- リスクマネジメント研修会
＜日時場所未定＞

●編集後記

●今回、平成30年度介護報酬改定アンケート集計に携わりました。集計結果から千葉県の老健施設の現状がご理解いただけたと思います。是非、ご自分の施設が千葉県の中でどれくらいの水準なのかを確認していただき、これから何をすべきかを検討する題材にいただけたら嬉しいです。お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして、誠に感謝いたします♪(*^_^)☆(福田)

●報酬改定から半年が過ぎ、今号ではアンケート結果を特集いたしました。皆さんの施設はいかがですか? 当施設は基本の加算型ですが、毎月数字とにらめっこです。今月は加算要件でもある地域貢献事業として、認知症サポーター養成講座を開催する予定です(^-^)/(坂本)

●佐々木さんの後任としてバトンタッチをしてから初めての仕事となりました。今は何も分からずに混乱していますが、私も佐々木さんのように広報の活動が財産となるように努力してゆきたいと考えています。よろしく願いいたします(*_*)>(鈴木)

●すっかり秋の風が吹いております。地元では今年も11月24日に「第2回たてやまかいごフェスタ」を開催します。昨年は大勢の皆さんに参加していただきました。今年も盛り上げていきたいと思っております(*^v^*)(神作)

●前回の号でなのはなだよりの担当は最後の予定でしたが、諸事情により今号も記事を担当いたしました。今回で本当に最後になります。皆さん本当に世話になりました(^_ _)♪(河野)

●自然災害の多い夏でしたね。遠方に暮らす友の安否を気づかいあう仲間へ感謝しました。豊かな自然の恵みで生かされているわたしたちですが、自然の恐ろしさも実感しましたw(*o*)w(若林)

●今回の報酬改定後のアンケート結果でも、各施設の苦難の状況が把握できました。介護保険制度の主役は誰なのかをもう一度考えていただきたい! 誰に(*_ω_*)?(斎藤)